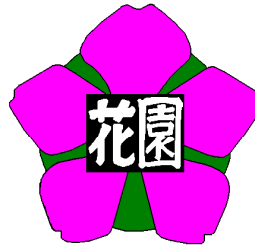


◆ 学校だより ◆
Obihiro Hanazono Elementary School



帯広市立花園小学校
保護者・地域との
より強い 絆 をめざして
令和3年6月23日 9号

はなぞの

自分の安全を守るために!

緊急地震速報が流れたら、どんな行動をとればよいのか、まず学級で身の安全を確保する訓練をしてから、奇数学年とはなの子は、グラウンドまでの避難を行いました。そして偶数学年（次回実施）は、感染症防止対策のために避難経路の確認を担任と行いました。

様々な訓練は、予想もしない事態が起きたとき、慌てずに身の安全を確保しながら避難できるよう、あらかじめ体験しておく大切な学習活動です。災害は、いつ・どこで起こるか分かりません。休み時間、登下校中、一人で家にいるときかもしれません。どんな災害が起こるか分かりません。だからこそ、『自分の命を自分で守ることのできる人になってください』と訓練の度に、子供たちに伝えています。



おさない
はしらない
しやべらない
もどらない



避難訓練 (地震)



緊急地震速報や揺れを感じたら、「まず低く・頭を守り・動かない」の3つの行動を取り、慌てず、身の安全を確保し、揺れが収まったら周囲を確認し、冷静に避難を開始できるように訓練しています。



自転車教室

2～4年生

手でブレーキをかけながら、左側から乗り降りすることや道路を走行するときのルールを学習しました。

「とまる」「みる」「まつ」をいつも思い出して、安全に自転車の乗りましょう。

実際の道路では、とっさに行動しなければならない場面があるので、状況に応じた行動ができるようにしないとイケません。



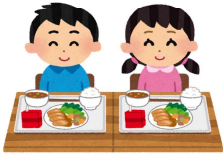
防犯安全教室

1・2年生



「おかしをくれる」と言われても、「ゲームソフトを買ってあげる」と言われても、どうすれば自分の身を守ることができるのかを考えた45分間でした。

「おびひろ市民学」の出前授業!



ふるさと帯広の自然環境や歴史、文化、産業、地域住民とのかかわりをおして、地域を知り、地域住民と関わり、地域や自分の未来を考える子供を育てることが「おびひろ市民学」の目的です。

つながる食育5・6年生編

5年生は、一食分の献立を考えよう

飯田食育指導専門員



主食・主菜・副菜・汁物のバランスを考えて!

まずは、3つの食品グループ【おもにエネルギーのもとになる食品】【おもに体をつくるもとになる食品】【おもに体の調子を整えるもとになる食品】について学習し、一汁三菜になるように十勝・帯広の食材を使ったおかずを各自で探しました。

探しながら、十勝・帯広には、おいしいものがたくさんあることに改めて気付くことができました。

6年生は、咀嚼(そしゃく)の必要性

大西食育指導専門員



ひとくち30回を目標に良く噛んで食べよう! 良く噛むと満腹中枢が刺激され食べ過ぎを防ぐこと。唾液が出て消化・吸収を助けること。あごの筋肉を動かすことで脳が元気になること。唾液の働きで虫歯を予防することなど、様々な効果について知ることができました。



～地域の食を知ろう～ 帯広市 斎藤農場の斎藤さんをお招きして



十勝の農業の特徴からお話がスタート。広大な斎藤さんの農場で栽培している作物のことや社会科の学習にも関連する農家さんの一年間の仕事の流れなどを資料や写真を使って説明してもらいました。教科書で学習して不思議に思っていたことを質問できる有意義な時間となりました。

農業で一番大切なことは「土を大事にして、そして環境も大切にすること」だそうです。その道のプロの話を聞く機会は大変貴重です。斎藤さん、ありがとうございました。